

NPO法人 横浜金沢文化協会会報



# 歴史講演会

## 「横浜開港150年と金沢」

NPO法人 横浜金沢文化協会

編集人 野中 建吾

☎ 781-5044

発行人 星 翠 雲

☎ 781-2624

印刷 幸栄印刷(株)

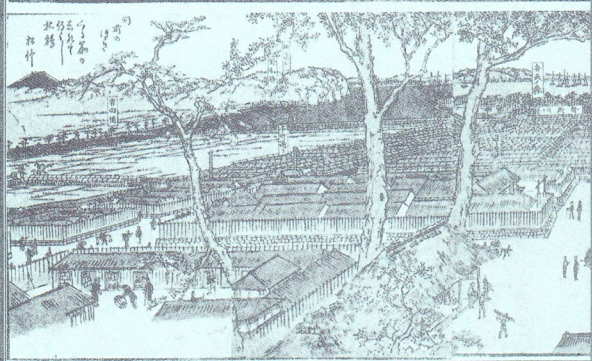
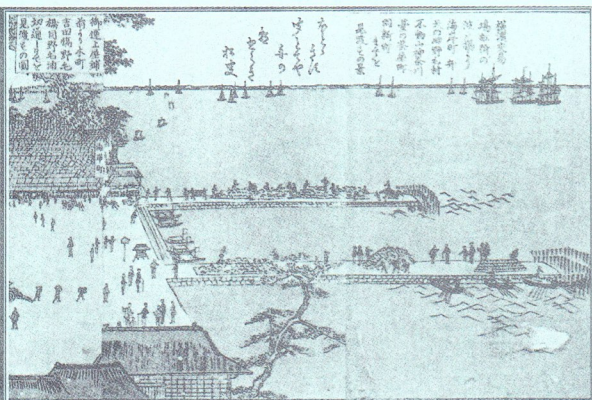
☎ 716-3366

今年度の当協会主催の歴史講演会が11月2日(日)、金沢公会堂で開催された。今回は「金沢区制60周年記念事業」として、講師に元・横浜市立大学学長(現同大名誉教授)の加藤祐三氏を迎え「横浜開港150年と金沢」をテーマにして実施された。

同氏は過去30年余にわたり、幕末の日本外交を研究され、「黒船前後の世界」「幕末外交の世界」「黒船異変」などの著書が多く、最近「開国史話」を出版されている。

講演の概要は、①当時の西洋諸国のアジア各国に対する武力による外交手段の趨勢とアヘン戦争、②なぜ米国がペリー艦隊を日本に派遣し開国を要求したか、③大型蒸気船の強大な軍事力を背景とした日米間交渉経緯と日米和親

条約締結、④米  
国総領事ハリス  
の来日から対外  
貿易・開港に関  
する交渉経過と  
日米修好通商条  
約締結を経て、  
横浜開港にいた  
るまでの内容で  
あった。  
②  
この中で、  
の米国の開国要  
求は、当時太平



洋に船出した大規模な捕鯨船団に対する薪水・食料の補給と難破・漂流船員の保護、太平洋航路と通商の要求が最大の目玉であったこと、③については、従来幕府の対応の無能無策説が言われてきたが、幕府側と米国側の交渉経過資料を詳細に調査・照査した結果、当時としては幕府の対応は適切であったと強調されたこと、④については、米国総領事ハリスの神奈川宿を、幕府側代表の目付・岩瀬忠震等は横浜村開港要求について交渉があった。しかし会談は決裂し、ハリスは上海に出張した。ハリス不在の間、幕府は9万両を投じて横浜村に波止場等の港湾施設を突貫工事で建設し、安政6年(1859)6月2日に開港の日を迎えた。

# NPO法人として発足!!

## 特定非営利活動法人 横浜金沢文化協会



### (定款の目的)

この法人は、地域住民に対して鎌倉時代からの伝統を踏まえ、次世代を展望してボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて地域文化の総合的發展に寄与することを目的とする。



金沢区文化協会は平成7年3月に区内で各種の文化活動を行ってきた諸団体及び文化の振興に関心の深い個人により設立されました。

その志は金沢文庫を創設してこの国の学芸振興を計った金沢実時を追慕し、歴史と文化による街づくりを活動目標とし、更には文化の殿堂であるホール

の建設を目標としました。会則の冒頭には地域文化の振興の中核となりボランティア精神をもって活動する人々の結集体が金沢区文化協会であるとなりました。当初は区民の文化祭事業を主に発展させてきて、歴史や文化講演事業、写真・絵画等の展示の事業を始め伝統事業である茶道、華道、書道、三曲、舞踊、詩吟等、更には合唱・文芸・琴・朗読・出前教室等各種団体や個人の活動を支援する後援事業と幅広く、特に文化財保全事業、青少年伝承事業に力を入れ、玉堂邸博文公別荘、塩づくり・海苔づくり教室を区役所と協働で進め成果をあげてきました。

発足以来拾数年を経て現状では法的根拠を有しない任意団体であり、今後県や市、又区役所との関わりを持って活動を続けていく協働の方向には添えてきました。

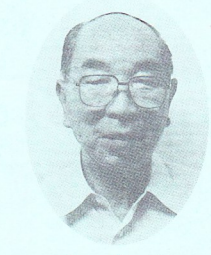
私達の活動は全くこの主旨に沿ったものであり、会員全員が自信と誇りをもって活動を進めていく体制が整ったのです。昨年は金沢区制60周年を迎えました。この記念の年に私共は組織を変更し、新しい体制にて多数の催しを開催、60周年を飾ることが出来ました。これからも全員がこの創立の原点に立って、ターゲットである歴史と文化が香る街づくりを強力に推進し、健康で明るいふれあい社会づくりを目指して活動を続け、地域社会の発展に貢献をしていきます。



初代会長 森下春陵氏



2代会長 助川信彦氏



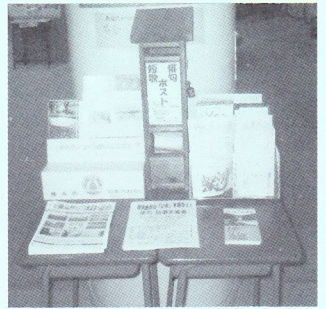
現会長 星翠雲氏



金沢区民活動センター「ゆめかもん」

# 横浜金沢俳句・短歌ポスト制度の発足

## ～金沢区、横浜金沢文化協会等の後援～



金沢自然公園「ののほな館」

- ・赤井不動尊正法院
- ・旧川合玉堂別邸
- ・《但し、第一土曜日のみ》
- ・金沢山称名寺(仁王門脇)
- ・瀬戸神社(社務所)
- ・知足山龍華寺(地藏堂内)
- ・富岡八幡宮(社務所)
- ・野島公園(公園管理事務所)
- ・横浜・金沢シーパラダイス(旅客船待合室)

○趣旨  
 昨年の金沢区制60周年記念を契機として、後々までも残る事業と考え、横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会を組織して、この「横浜金沢俳句・短歌ポスト制度」を立ち上げました。

その後、金沢区役所、NPO法人横浜金沢文化協会、横浜金沢観光協会、NPO法人横浜金澤シティガイド協会の後援を得ることが出来て今日に至っています。

○意義  
 横浜市金沢区は、古都鎌倉に隣接した風光明媚にして歴史と文教の町ですが、益々の文化的発展のためにも、区内の「花鳥風月(四季の移り変わり)“を俳句に短歌に詠むことにより、金沢区の魅力が再発見され、観光的誘致の一助を担うことが出来ると考えます。

○特色  
 本制度は、金沢区内の四季の移り変りを詠むことに限定したこと、また鎌倉市等の制度とは異なり、ポスト投稿の対象に「短歌」を加えたことが特徴で全国で初の試みと言えます。

○ポスト設置箇所(15か所)  
 ・金沢区役所区民活動センター「ゆめかもん」  
 ・金沢地区センター  
 ・釜利谷地区センター  
 ・富岡並木地区センター  
 ・能見台地区センター  
 ・六浦地区センター  
 ・金沢自然公園(ののほな館)  
 ・野島公園(公園管理事務所)

○ポスト設置箇所(15か所)  
 ・金沢区役所区民活動センター「ゆめかもん」  
 ・金沢地区センター  
 ・釜利谷地区センター  
 ・富岡並木地区センター  
 ・能見台地区センター  
 ・六浦地区センター  
 ・金沢自然公園(ののほな館)  
 ・野島公園(公園管理事務所)



旧川合玉堂別邸



金沢地区センター

### 文芸部活動報告

**\*金沢区民俳句(吟行)大会結果\***  
 金沢俳句会では、昨年10月26日、富岡総合公園にて吟行後、富岡並木地区センターに、29人の俳句愛好者が集い、第9回金沢区民俳句(吟行)大会を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

- 湧き水の奥は保護林小鳥来る  
 朝練の野球少年落葉掃く  
 初鴨の陣の整ふ船溜  
 昔日の波打際や木の実ふる  
 行く秋や大樹の森の浜空碑  
 浜空に昭和残るや暮の秋  
 浜空の驚のりレーフ木の実落つ
- 惣野 圭子  
 高橋 るり  
 房安 恵英  
 太田 修  
 太田 重九  
 大野 伊史  
 柴崎 幸治

秋思ふと還らぬ刻を惜しみけり  
 川畑 文子  
 風招き風を見送る芒かな  
 小幡 友子  
 鳥渡るソロモンに散る航空隊  
 北野 一清

**\*金沢区民短歌大会結果\***  
 金沢区民歌人会では、昨年10月12日、八景コミュニケーションハウスに、短歌愛好家38人を集めて、「金沢区民短歌大会」を開催しました。次に上位の方の作品を紹介します。

- 真夏日を避けて子連れの野良猫が  
 わずかな日陰に寄り添ひ眠る  
 秦 正子  
 白菊を貴方の胸に置きました握手も  
 せすにお別れですね  
 木村 靖一  
 告知受けつる妻への恋心生きたき  
 思い沸沸と湧く  
 石川 武

### 「金沢水の日」イベントに初参加



「金沢水の日」が10月26日(日)、野島公園で実施され、当協会は初めて「利き水」で参加した。区内の市民グループが、区内を流れる河川やその他の水環境の保全を、そして健全な姿で次世代に引き継ぐために活動している姿を、市民にアピールするため、今回で25回目となる。

利き水に使用した水は、朝比奈の民家の湧き水、富岡の古刹の湧き水それに野島公園の水道水の3種類。何処の水かは明示せず赤青黄の3色を標示しただけの容器から紙コップに注いで飲み比べ、どの水が美味しかったかを投票した結果、水道水が116票、富岡の水が59票、朝比奈の水が24票であった。最多票が水道水だったのは、他の水は衛生上の面から前日に一度煮沸しており、水温が水道水より高かったためと思われる。次回以降も参加し、水環境保全の大切さを訴えていきたい。

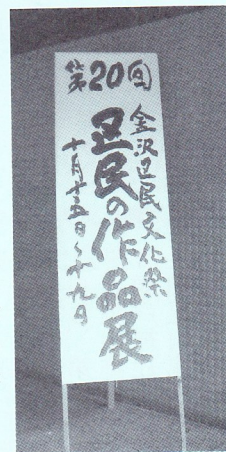
# 金沢区制60周年記念 第20回「金沢区民文化祭」

—平成20年10月15日～12月7日—



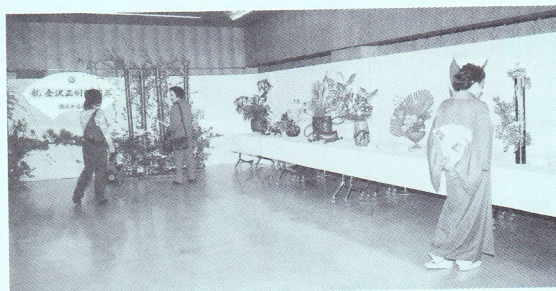
◎お茶会  
10月19日(日)、  
同センター  
2階和室とロビーの立札の2席  
が設けられ、さすがに伝統文化  
華やいだ雰囲気の中「和敬静寂」  
そのもので、お点前が披露され  
ていた。

◎区民の作品展  
10月15日(水)から19日  
(日)までの間、書道・  
写真・絵画・文芸(俳  
句・短歌)・手工芸等  
の作品展が、金沢地区  
センター体育館にて催  
された。会場では、日  
頃の学習成果である自  
信作を前に、同好者同  
士の意見交換や制作の  
苦労話等、区民と相互  
の交流で賑わい、金沢  
区の文化、芸術の質的  
向上に向けて、文化  
事業への参加を楽しん  
でいた。



◎華道展  
10月18日(土)から  
19日(日)までの間、  
同センター2階の大  
会議室にて流派を超  
えて合同で大作が活  
けられた。「竹」を基  
調に「つるうめもど  
き」で秋色に。会員  
の力作や黄金の扇面  
の文字がよく映え  
来館された人たちの  
心が癒された。

◎金沢区小・中学校音楽祭  
12月7日(日)、金沢公会堂。  
六浦、大道、  
能見台南の  
各小学校、  
金沢、富岡  
東、金谷谷  
の各中学校  
そして横浜  
中・高校の  
計7校の生  
徒と家族が  
来場し、会  
場は舞台と  
もども熱気  
に包まれ楽  
しい1日だ  
った。



◎吟と舞の祭典  
10月11日(土)、金沢公会堂。  
金沢区内の12団体がこの1年間の集大成  
を披露する祭典で、今回は金沢区と関係が  
深い「金沢八景詩歌」「伊藤博文と明治期  
に活躍した英傑詩人の群像」そして「吟詠  
の四季」。詩吟の迫力、舞の華麗な競演は  
見ごたえのあるものだった。また「歌謡  
吟詠コンクール」は実力伯仲で最高に盛り  
上がった。

◎金沢区音楽のつどい  
10月19日(日)、金沢公会堂。  
区内で活動している24団体が出演。日頃の  
成果を発表、フィナーレでは、聴衆と一緒  
に金沢の歌「かなざわの四季」を合唱して  
楽しいひと時を過ごした。

◎金沢三曲演奏会  
11月3日(月)、金沢公会堂。  
古典・名曲の演奏とともに、みんなが知っ  
ているやさしい曲も演奏され、日本伝統  
音楽の楽しさ・床しさを聴衆に伝えていた。

◎金沢区日本舞踊連盟公演  
11月30日(日)、金沢公会堂。  
公演された日本舞踊は、いずれも優雅にし  
て絢爛たるもので、例年にも増しての熱演  
に観客の暖かい  
拍手が鳴り響いた。  
今回は金春流  
シテ方能楽師・  
桜間右陣氏の「金  
沢区と能について」  
の講話もあり、舞  
踊・講話ともども  
盛況裡に終わった。



# 第7回クリスマス チャリティーコンサート

12月14日 金沢公会堂にて

今年で7回目を迎えた年末恒例の金沢吹奏楽団「クリスマス・チャリティーコンサート」が、今年はゲストに新進の若くて美しい女性クラリネット・アンサンブル「カラフル」の皆様をお招きし、大勢のお客様と楽しいひと時を過ごすことができました。毎年少しづつですが、会場の皆様のご善意が積み重なって、「りんごの森」へのチャリティーも7年間で70万円に達する勢いです。6月14日には「みなとみらい大ホール」にて、第39回の定期演奏会も開催する予定ですので、皆様お誘い合せの上でのご来場をお待ちしております。

なお、横浜金沢文化協会は国際交流事業の一環として毎年、金沢国際交流ラウンジの外国の皆さんを招待しております。



## 金沢フォトクラブ 写真展

### 26人の個展

横浜金沢文化協会団体会員、金沢フォトクラブの写真展「26人の個展」が11月6日から11日の間、関内の市民ギャラリーで開かれました。

タイトルが示すように、26人の会員それぞれが、普段から追っている自分のテーマの作品を、決められたスペースを自由に使って、個展風に展示致しました。

個性豊かな人たちが多いクラブなので、実に幅広い主張をさまざまな方法で展示することができ、来場された方々も飽きずに楽しんで下さったようです。

なかには、「私は写真を糸口にして、こんなに人生を楽しんでいます！」と言う内容のものまであって、単なる写

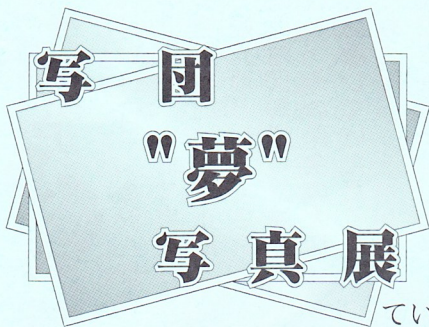
真展というより、生涯学習の発表の場のような、ほのぼのさせる雰囲気も感じていただけたのではないかと思います。

また、50年前に野島から撮られた貴重な写真を地元の方に提供していただき、現在の写真と並べて飾って、風光明媚な金沢の今昔を、来場者にご覧いただきました。



在金沢区の写真同好グループ写団「夢」による写真展が、横浜金沢文化協会の後援を得て、12月1日より8日まで金沢地区センターで開催されました。今回の展示会は「水」をテーマとした作品と、「自由課題」の作品計39点が出展されました。

写団「夢」は現在会員数19名で、二科会写真部会員の片岡順一氏の指導を仰ぎ、撮影技術の向上を目指すと共に、地域文化活動にも参加し、楽しみながら活動しているグループです。



会期中に地元テレビ局JCNの取材放映もあり、大勢の来場者に恵まれた展示会となりました。

横浜開港150周年になる今年は、当会10周年にも当ることから、更によりよい作品作りに会員一同精進しております。

# 西湖梅復元記念植樹

横濱金澤シテイガイド協会10周年及び金沢区制60周年記念行事として、「西湖梅」の植樹を昨年11月15日(土)に泥亀公園にて行いました。「西湖梅」は、鎌倉時代に北条実時が中国杭州の西湖から取り寄せ、称名寺に植えたと言われる梅で「金沢八名木」の一つとして語り継がれてきました。

「八房」という珍しい品種で苗木で販売されていないため、復元するのに多くの方々のご協力と、2年近い歳月を必要としました。今はまだヒョロリとした樹ですが、10年、20年後には風情のある梅に育つよう祈るばかりです。泥亀公園を通られる時は「がんばれ」の一声をお願いします。



# 第10回 児童生徒席書大会



「第10回金沢区児童生徒席書大会」は「金沢区書道協会」と「NPO法人横濱金沢文化協会」の主催で、また「金沢区役所」と「ゴールデン文具」の後援で、平成20年9月28日(日)、金沢地区センター体育館で開催されました。参加者は60人、入場者は120人。伝統文化の書道を通して、児童生徒の健全育成を図り、その継承・普及・向上を目的として創められた「席書大会」も第10回を迎えました。学年別の課題も、身近な事から選びます。大勢が一堂に会して席書することは、集中力の持続と冷静な対応が必要で、低学年から高学年まで目を見張るものがあります。これからも地域や学校関係等の皆様に支えられ永く続くことを願っております。

# 瀬戸・六浦散策と紅葉狩り

12月14日(日)「金沢八景の自然と史跡を守る会」主催で実施された。

実施の目的は、大正期まで観光地として愛された瀬戸地区周辺の景勝の回顧と、その保全の大切さを認識していただくことにあった。

天気にも恵まれ、45名が参加した。午前中は瀬戸神社、姫小島水門跡、瀬戸橋、琵琶島、金龍院、九覽亭・米倉藩陣屋跡、明治11年まで東照宮が祀られていた木村邸までを巡り、午後

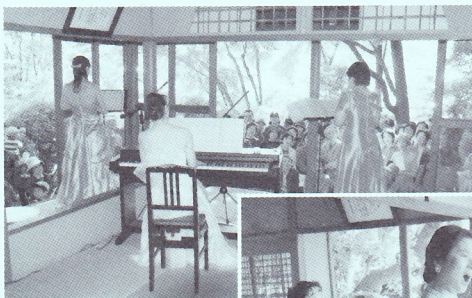


に残った。

からは、京急金沢八景駅西側の権現山の一帯には紅葉が多く、知られざる紅葉の名所でもある。今回も参加された多数の方が所々でその美しさに感嘆され、写真に記録していた。なお、この地区の一部の樹叢林が貴重なものとして、一昨年に市の天然記念物に指定されたと説明すると、参加者の多数が安堵の念を表わされたことが印象

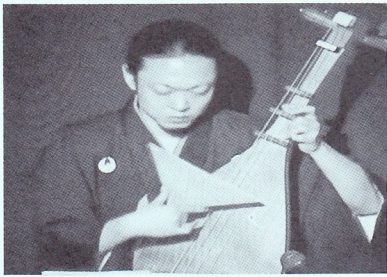
# 歌とクラリネットの調べ

～旧川合玉堂別邸～



紅葉には少し早い11月1日(土)の旧川合玉堂別邸の開園日、金沢区制60周年記念参加事業として、同別邸に地元の音楽家、齊藤真理恵さん(ピアノ)をはじめ、加藤裕子さん(メゾソプラノ)、高井洋子さん(クラリネット)を迎えての楽しい一日。11時から13時30分からの各20分。曲目は「小さな四季」「アヴェマリア」「涙そうそう」等、思わず一緒に口ずさむような身近な歌。場所は茅葺き屋根の主屋。歌声が森にこだまして幽玄なひと時でした。

# 第5回 か音さ輪 公演



八景に加え、横濱金澤シテイガイド協会が中心になって選定された新八景に短歌及び漢詩を付けて吟詠し、また映像によって金沢の今昔の変化の一端を読み取って頂くという趣向でした。会場もほぼ満席の盛況で、大人も子供も楽しい一日を過ごして下さったと思います。



平成20年11月1日(土)、金沢公会堂において「か音さ輪」公演が行われました。今回は、金沢区制60周年・横浜開港150周年記念事業として金沢区役所の後援を頂きました。

三部作で、一部は大寧寺にまつわる民話を題材に「琵琶・船弁慶」「剣舞・曾我兄弟」「芝居・範頼の魂・へそ薬師」など小学生の楽しい歌とお芝居を交えての物語に満場の拍手を頂きました。二部はジャンル別競演として、和太鼓・朗読・フラダンス・箏曲・民謡・コーラス等賑やかに舞台を飾って頂きました。三部は、区制60周年事業に相応しく、従来の金沢



## 第1回 金沢区美術展開催

平成20年の金沢区制60周年の記念すべき年を契機に、区民の美術・絵画の趣味をライフワークとする人達の作品の展示・研修会等を通じて、ネットワークを作り、交流を深めることを目的として同年5月、絵画部を母体として「金沢区美術協会」を新たに立ち上げ、金沢区の美術文化の発展に寄与すべく活動を始めました。

そして、第1回目の「金沢区美術展」を企画し、金沢区役所・当文化協会・能見台地区センターの後援をいただき、11月20日(木)～24日(月)まで能見台地区センター体育館において開催しました。

作品は、一般・会員から公募し、出品者数は158名・作品数158点(一人一点に制限)(水彩画68点、油彩画46点、水墨画40点、切り絵、ペン画、彫刻など15点)の多数に上り、お蔭様でこれまでにない盛大な展示会を開催することが出来ました。

今後も当美術協会は、それぞれのグループや会派を超えて、区民の美術愛好家作品の展示等を通じて友好を深め、活動していく所存です。

金沢区には作品展示ギャラリー(展示ホール)がありません。なんとしてもこの文化ホールを創設していかなければなりません。



## 第15回 金沢歌謡祭

平成20年10月4日(土)午前9時45分、金沢公会堂にて、南川翔さん(キング)、小林邦子さんの歌で開演。発表部門、増田君子さん「大利根無情」「臉の母」の2曲。



が続き、ベテラン審査員の清水均、岸本ミツ子両先生の厳しい審査を受け、上位30名がグランプリ大会に進出。グランプリ大会の出場料は無料。選ばれた方は同じ歌で出場する。審査結果(1位のみ)。

午後からスーパースينيا(75歳以上)、シニア(65歳以上)。一般大会、ナツメロと各1コーラスの歌

(千葉) ①スーパースينيا、山口里子(横浜) ②シニア、成田竹夫 (横須賀) ③一般、岡本利治 (千葉) ④グランプリ、長友紘一郎

文化協会行事予定

(日程順)

4月1日(水)～7日(火)	杉田劇場 書道展	(701) 4964
4月5日(日)	金沢八景「木村邸」 観桜会 「金沢の文化 ふれあいセミナー」	(784) 4192
4月19日(日)	金沢地区センター 第57回 春季茶会	(788) 0988
4月29日(祝)	八景コミュニケーションハウス 春季金沢区民短歌大会	(782) 1055
5月・7月・9月の第一火曜日	金沢地区センター 親子で楽しむお話し会	(783) 3962
5月23日(土)	瀬戸神社境内 第8回 瀬戸神社居合道奉納演武会	(783) 2298
6月14日(日)	みなとみらい大ホール 第39回 金沢吹奏楽団定期演奏会	(781) 9908
6月	金沢地区センター 第11回 金沢区民俳句大会	(781) 5044
7月26日(日)	海の公園 第7回 塩田による塩づくり	(781) 8665
9月	第21回 金沢区民文化祭 区民の作品展 お茶会 華道展 金沢区小・中学校音楽祭 吟と舞の祭典 金沢区音楽のつどい 金沢三曲演奏会 金沢区日本舞踊連盟公演	(783) 5479
9月下旬	金沢地区センター体育館 第11回 金沢児童生徒席書大会	(701) 4964
10月	野島公園 金沢「水の日」イベント	(784) 4192
10月	金沢公会堂 歴史講演会	(781) 8665
10月24日(土)	金沢公会堂 第16回 金沢歌謡祭	(783) 5479

(連絡先)

顧問名簿

(五十音順)

相川 忠久	相川 光正	荻野 慶子	小幡 正雄	木村 久義	楠山 永雄	国吉 一夫	黒川 澄夫	黒川 勝夫	佐藤 謙一郎	塩浜 方美	鈴木 節夫	田中 肇	松崎 淳	松本 純	峯尾 舜	谷田部 孝一
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	------	------	------	------	--------

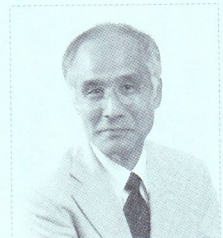
賛助会員名簿

(五十音順)

相生金沢調理センター	(社)金沢区三師会	金沢区旅館組合	金沢民謡・舞踊普及会	関東学院大学	(社)翠会金沢病院グループ	幸栄印刷(株)	日本料理 翠祥	(有)高松写真商会	鳥居泌尿器科・内科医院	横浜オリオンライオンズクラブ
------------	-----------	---------	------------	--------	---------------	---------	---------	-----------	-------------	----------------

賛助会員紹介

社団法人 金沢区三師会



会長 小田 兵馬  
社団法人金沢区三師会は、昭和47年に設立した全国でも数少ない、各

師会(金沢区医師会・金沢区歯科医師会・金沢区薬剤師会)が一体となって実働する医療・保健・福祉団体です。主な事業として、昭和47年11月県内最初の歯科診療を併設した休日救急診療所を開設し、現在、訪問看護ステーションの運営など、過去の経験と実績をふまえ、各師会との緊密な連携のもと、地域の医療、福祉の発展のために活動しております。また、大規模災害時には、金沢区内の医療連携拠点としての役割を担っており、今後も、区民の皆様が安心・安全に暮らせますよう医療、福祉の発展に寄与して行きたいと思えます。今後も、微力ながら文化協会の賛助会員として協力して行きたいと思えますので、よろしくお願いたします。

個人会員紹介

歴史部 佐藤 弘志



昭和55年の暮に金沢区に転入しました。会社勤めが終り、平成14年にシテイガイド募集

の記事を読み、早速に応募しました。多くの人々と接することが仕事の大部分であったし、あちこち歩くことが好きで、歴史にも興味があり、ガイドの仕事には適合しているかなと思えました。

会社では、大企業や中小企業の組織の管理と運営に携わっており、また、横濱金澤シテイガイド協会に入会してからも、経験上その方面の業務に関わることが多くなり、総務、研修、会計など担当しております。これからはNPO法人横濱金沢文化協会の発展のため、皆様のお力添えをいただきます。から微力を盡くす所存でおります。

編集後記

皆様の投稿や特別行事(記事)が多くて今回は8ページになりました。今後も、皆様の活動記事の投稿の多いことを願っております。

編集委員

- 一之瀬 焔次・氏家 総子・小櫃 健一・後藤 政也・佐野史瑞子・白井 俊一・鈴木 稔・野中 建吾・森川 淳子

(五十音順)

